

## 2024年度事業報告承認の件

1. 国は「全世代型社会保障構築を目指す改革」を打ち出し、社会保障費の抑制路線を突き進んでいます。介護保険では、これまでサービスの削減や利用者負担割合の引き上げなど負担増や介護保険による給付対象範囲の縮小などによる給付抑制の仕組み作りが進められてきました。

そのような中、2024年には、史上最悪と言われた介護保険法と介護報酬の改定が行われました。改定の基本方針は、『地域包括ケアシステムの深化・推進』『自立支援・重度化防止に向けた対応』『良質なサービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり』『制度の安定性・持続可能性の確保』であり、一見すると介護保険制度の充実が図られたように見えます。しかし、その中身は、多床室室料負担の対象者拡大や特定施設の人員配置基準の「柔軟化」、また、介護人材不足対策として（少ないスタッフで現場を回す）ICT機器の活用や介護のデータ化の導入による効率化の推進が盛り込まれました。一方、介護保険改定の「給付と負担」の見直しにおいて、政府が当初目指していた①利用料2割負担対象者拡大、②要介護1,2の総合事業移行、③ケアプラン有料化などについては、多くの世論と私たちの運動により、先送りすることが決まり、負担増とサービスの切り捨てが同時に強行されることはひとまず回避されました。

一方で介護保険料は右肩上がりに増え続け、直近の第9期（2024年）の全国平均の介護保険料は月額6,225円となり、制度開始時（2000年）月額2,911円の倍以上となっています。同様に、宮城県における第9期（2024年）介護保険料は平均月額6,098円となり制度開始時（2000年）月額2,697円の倍以上となっています。物価高騰や燃料費の値上げ等により国民生活が厳しい状況の中、保険料は上がり続け、一方サービスは縮小し続け、「保険あって介護なし」の事態がますます深刻化しています。

2024年度介護報酬改定では小幅なプラスになったものの、これまでの低く据え置かれてきた介護報酬と長引く物価高騰等の影響で、現在の介護報酬では事業者が抱える経営困難を打開できていません。さらに、国は訪問介護事業所の平均収支差率7.8%を理由として、訪問介護すべてのサービス類型にわたり2~3%の基本報酬引き下げを実施し、介護業界に衝撃が走りました。そもそも訪問介護事業所は全体の約4割が赤字事業所であり、深刻化するヘルパーの不足と高齢化により、ヘルパー有効求人倍率は15.53倍（2022年）に達しています。事業形態や事業規模・地域性を無視した訪問介護サービスの基本報酬の一律引き下げは、地域の介護基盤の崩壊に直結します。2024年度老人福祉・介護事業所の倒産件数は全国172件で前年から1.4倍に増え、介護保険制度開始以降、最多となっています（東京商工リサーチ）。特に「訪問介護事業所」は全体の半数を占め、その中で小規模事業所が8割に達しています。地域で最も身近な小規模の訪問介護事業所が廃業に追い込まれる非常事態が生じており、各地で不安と怒りの声が噴出し続けています。訪問介護は介護保険の在宅サービスの柱であり、地域包括ケアの要を担う重要なサービスです。訪問介護の基本報酬引き下げは政府の地域包括ケアシステム方針、医療と介護の連携強化方針に逆行するものであり、決して容認することはできません。

介護事業所の経営環境は人材不足や介護報酬改定、制度改定等により厳しくなる一方で、地域の介護力を維持する困難さも浮き彫りになっています。

これらの介護保険制度が直面している課題を解決するためには、国庫負担による基本報酬の大幅

な引き上げと介護保険料の抑制、物価高騰への継続した支援が不可欠です。

2024 年度には事業者の安定的な事業運営の施策と介護人材の不足に対する対策として全産業の平均賃金レベルが確保できる大幅な報酬改定を実施し、介護保険財政の国庫負担割合を大幅に引き上げることで費用負担の軽減、サービスの拡充など介護保険制度を抜本的に見直し、必要な人が安心して社会福祉サービスを受けられるよう、内閣総理大臣をはじめ関係大臣等に「2024 年介護報酬の再改定と介護保険制度の抜本見直しを求める要望書」を提出しました。

また、誰もが安心して利用できる介護保険制度を実現するため、13 団体と共に 8 回目となる「みんなで考えよう介護保険!みやぎ県民フォーラム 2024」を開催しました。フォーラムでは介護事業者の安定的な事業運営、処遇改善、利用者負担の抑制を求めて、内閣総理大臣をはじめ関係大臣等に「2024 年介護報酬の再改定と介護保険制度の抜本見直しを求める要望書」を提出しました。

併せて、高齢者の生活と権利、事業者・働き手への支援が図られるよう、宮城県知事及び仙台市長・宮城県 34 市町村首長へ「2024 年介護報酬の再改定を求め、よりよい介護保険制度の実現と介護サービス体制を維持するための要望書」を提出し、後日、宮城県及び仙台市担当部局との懇談を開催しました。この中で、自治体の役割・責任として介護福祉士養成数の目標数値を示し責任をもって養成すること、自治体の事業である総合事業の単価を抜本的に引き上げることも求めています。

介護・福祉ネットみやぎは、1999 年に設立され、2024 年に 25 周年を迎えました。25 年を支えてきた多くの皆様に感謝を込めて創立 25 周年記念誌を発行し、25 年の歩みを振り返ることが出来ました。

2024 年度総会では、総会記念講演として服部メディカル研究所服部万里子所長を講師に「コロナ禍を乗り越えて安心介護のために～介護される人もする人も大切にされる制度を～」と題してご講演いただき、ハイブリット形式で 110 人が参加しました。

2. 2024 年度事業・活動の重点として、次の 5 点を重視して取り組みました。

- 1) 介護・福祉ネットみやぎの会員が相互に学びあい、会員事業所の介護・福祉サービスの質・マネジメント力の向上に役立つこと。
- 2) 介護・福祉サービスの向上に資する「介護サービス情報の公表制度調査事業」、「地域密着型サービス外部評価事業」や「福祉サービス第三者評価事業」などの調査、評価事業を実施すること。
- 3) 介護保険制度充実のために介護現場の実態を踏まえ、情報や意見を発信すること。
- 4) 介護・福祉ネットみやぎの 25 年の活動を振り返ること。
- 5) 大規模自然災害や新型コロナウイルス感染症に関して介護・福祉事業団体として地域の実情を踏まえた活動を推進すること。

(1) 介護事業所の介護サービスの質・マネジメント力の向上のために、実務担当者研修として、年 5 回の研修をハイブリット形式で実施しました。第 1 回「高齢者虐待防止法の理解と対応の視点」、第 2 回「身体拘束排除のための取り組みについて」、第 3 回「感染症予防および蔓延防止の対策について」、第 4 回「看取りケアについて」、第 5 回「高齢期の精神疾患の理解と対応について」に関し学習及び情報提供を行いました。

また、福祉サービスに関する苦情解決の第三者委員の共同委嘱事業では、5人の第三者委員に14団体129事業所が共同委嘱しました。

(2) 2024年度「介護サービス情報の公表制度」「地域密着型サービス外部評価」「福祉サービス第三者評価」の調査は感染対策を行いながら、訪問による調査を実施しました。調査手法の運用にあたり、各調査手法のマニュアルの点検や調査員研修および事務局体制を整備し、調査が安定的に行えるよう取り組みました。

①介護サービス情報の公表制度の調査は、「令和6年度『介護サービス情報の公表』制度 報告・調査事務・情報公表事務に関する計画」に基づき529事業所の調査を実施しました。

②地域密着型サービス外部評価は50事業所の評価を実施しました。

③福祉サービス第三者評価は6事業所の評価を実施しました。

(3) 介護保険制度を充実するために介護現場の実態調査などを踏まえ、意見を発信し学習にも取り組みました。

①宮城県内における訪問介護事業所ゼロか1の自治体について、首長・担当者との懇談や聴き取りを実施しました。

②介護・福祉ネットみやぎでは2025年2月27日(木)付けで内閣総理大臣はじめ関係大臣等へ『2024年介護報酬の再改定と介護保険制度の抜本見直しを求める要望書』を提出しました。

③宮城の介護現場が抱える問題や課題を改善し、より良い介護保険制度を実現するため、2024年12月22日(日)「みんなで考えよう介護保険！みやぎ県民フォーラム2024」を県内で活動する他団体と共に開催しました。

みやぎ県民フォーラム実行委員会では、介護事業者の安定的な事業運営、処遇改善、利用者負担の抑制を求め、2025年2月14日(金)付けで内閣総理大臣はじめ関係大臣等へ『2024年介護報酬の再改定と介護保険制度の抜本見直しを求める要望書』を提出しました。

高齢者の生活を守り支える制度の実現を求め『2024年介護報酬の再改定を求め、よりよい介護保険制度の実現と介護サービス体制を維持するための要望書』を宮城県知事及び仙台市長へ2025年3月21日(金)、宮城県内34市町村首長へ2025年3月27日(木)に提出しました。要望書提出後、2025年5月9日(金)宮城県、2025年5月16日(金)仙台市担当部局との懇談を開催しました。

(4) 介護・福祉ネットみやぎ創立25年間の活動を振り返り記念誌を発行しました。

発行部数は700部、議員、行政、関係団体等に送付し、改めて、介護・福祉ネットみやぎの活動の状況をお伝えしました。

発行にあたっては、宮城県知事・仙台市長から祝辞をいただき、元理事長や役職員、調査員の皆様からのコメント、この間の記念講演会の開催状況など活動の記録も掲載いたしました。

3. 介護・福祉ネットみやぎの会員が相互に学びあい、会員事業所の介護・福祉サービスの質・マネジメント力の向上のための事業

(1) 介護サービスの質の向上のためには様々な研修が必要です。会員事業所の介護・福祉サービスの質の向上に資するための研修事業として、実務担当者会議において拡大学習会をハイブリット方式で5回開催しました。

- ① 第1回拡大学習会 2024年5月17日(金) 14:00~16:00 フォレスト仙台4F 4A会議室  
「高齢者虐待防止法の理解と対応の視点」  
講師：小湊純一さん(宮城県社会福祉士会副会長・NPO法人宮城福祉オンブズネット「エール」副理事長) 参加者51人
- ② 第2回拡大学習会 2024年7月19日(金) 14:15~16:15 フォレスト仙台4F 4A会議室  
「身体拘束排除のための取り組みについて」  
講師：小湊純一さん(宮城県社会福祉士会副会長・NPO法人宮城福祉オンブズネット「エール」副理事長) 参加者58人
- ③ 第3回拡大学習会 2024年9月20日(金) 14:00~16:00 フォレスト仙台5F 501会議室  
「感染症予防および蔓延防止の対策について」  
講師：残間由美子さん(公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院感染管理認定看護師・NPO法人みやぎ感染予防教育推進ネットワークきれいな手 理事長) 参加者70人
- ④ 第4回拡大学習会 2024年11月19日(火) 14:00~16:00 フォレスト仙台5F 501会議室  
「看取りケアについて」  
講師：齋藤陽子さん(医療法人社団東北福祉会介護老人保健施設せんだんの丘部長補佐) 参加者50人
- ⑤ 第5回学習会 2025年2月21日(金) 14:00~16:00 フォレスト仙台5F 501会議室  
「高齢期の精神疾患の理解と対応について」  
講師：香山明美さん(東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科作業療法学専攻長・教授) 参加者41人

(2) 介護・福祉ネットみやぎの会員団体のより一層の連携の推進について

会員団体の良質な介護・福祉サービス提供と健全な事業運営のために必要な情報共有と連携を推進し、介護・福祉ネットみやぎの運営や活動について検討することを目的に、実務担当者会議を開催しました。

<実務担当者会議の開催>

- ① 第1回 2024年5月17日(金) 16:00~16:30 フォレスト仙台4F 4A会議室  
2024年度実務担当者会議・拡大研修会企画内容を協議、年5回開催およびオンラインを含め会場とウェブ開催の併用による運営とすることを確認 出席者15人
- ② 第2回 2024年7月19日(金) 16:10~17:00 フォレスト仙台4F 4A会議室  
新しい処遇改善加算の問題点や改善点などや訪問介護サービスの実態について情報交流 出席者15人
- ③ 第3回 2024年9月20日(金) 16:10~16:30 フォレスト仙台5F 501会議室  
訪問介護サービスの実態について情報交流 出席者13人
- ④ 第4回 2024年11月19日(火) 16:10~16:30 フォレスト仙台5F 501会議室

訪問介護サービスの実態について情報交流

出席者 13 人

⑤ 第 5 回 2025 年 2 月 21 日（金）16:10～16:30 フォレスト仙台 5F 501 会議室

「みんなで考えよう介護保険！みやぎ県民フォーラム 2024」開催し、内閣総理大臣・関係大臣等に「2024 年度介護報酬の再改定と介護保険制度の抜本見直しを求める要望書」提出、併せて当法人も内閣総理大臣・関係大臣等に「2024 年度介護報酬の再改定と介護保険制度の抜本見直しを求める要望書」提出について報告

第 5 回実務担当者会議・拡大研修会を受け、精神疾患のご本人や家族、複合的な疾患への現状や支援について情報交流

出席者 17 人

4. 福祉サービスに関する苦情解決の第三者委員の共同委嘱事業

介護・福祉ネットみやぎの会員 14 団体・129 事業所（2024 年 7 月現在）が苦情解決に社会性や客観性を確保し、適切な対応を推進するため、第三者委員を共同で委嘱しました。

【第三者委員】 阿部 徹 （民生委員・児童委員）  
佐々木真知子（消費生活専門相談員）  
鈴木 牧夫（玉川大学名誉教授）  
内藤 千香子（弁護士）  
渡辺 礼子（吉成学区社会福祉協議会会長）

(1) 苦情解決の第三者委員研修・情報交流会開催

2024 年 7 月 19 日（金）13:00～14:00 フォレスト仙台 4 階 4A 会議室において、参加者 17 人で開催しました。第三者委員苦情相談窓口と、共同委嘱している会員団体から事業所における 1 年間の苦情報告がありました。第三者委員より介護施設入所の利用者間でトラブルが発生した場合、施設側が事前に予見し対策を取るべきだったと施設側の責任を問われた事例等について紹介いただきました。今後の介護事業所の運営において役立つ有意義な情報交流会になりました。

(2) 第三者委員苦情相談窓口の設置

第三者委員苦情受付相談の窓口を一本化し、利用者が相談しやすい環境を作りました。

相談窓口は通年（土日・祝祭日・年末・年始・お盆の期間を除く）9:30～17:00まで開設しました。苦情相談実績はありませんでした。

5. 介護サービス「情報の公表」調査事業

宮城県及び仙台市より調査機関に指定され、調査事業を実施しました。2024 年度は、調査員として 77 人に委託し、宮城県管轄 318 事業所、仙台市管轄 211 事業所、合計 529 事業所の介護サービス「情報の公表」の調査を訪問にて行いました。調査員は、新型コロナウイルス 5 類移行後も感染対策として調査当日は健康チェックを行い事務局に報告し、事業所に健康チェック表を持参し健康状態について報告してから調査を開始しました。また、マスクの着用、手指消毒、必要に応じてフェイスガードの着用など徹底しました。

(1) 「情報の公表」調査事業推進委員会

情報の公表調査事業の適正な推進を確保するために情報の公表調査事業推進委員会を設置し、

情報の公表調査事業計画・事業報告・調査事務に関することを検討しました。

**【調査事業推進委員】**

入間田範子 (NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ副理事長) **【委員長】**

寺岡 良一 (元民生委員・児童委員) **【副委員長】**

及川 律子 (元国家公務員共済組合連合会水府病院看護部長)

畑山みさ子 (宮城学院女子大学名誉教授)

若生 栄子 (公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部代表)

第1回 2024年12月16日(月) 10:30~12:00 フォレスト仙台5階事務所

第2回 2025年05月26日(月) 14:00~15:30 フォレスト仙台5階事務所

(2) 「情報の公表」調査実務向上検討委員会

「情報の公表」についてより深い理解をしている『「情報の公表」調査員指導者』の資格者を含む4人を委員とし、調査員研修の持ち方等について検討しました。

**【調査実務向上検討委員】**

渡辺礼子 (情報の公表調査員指導者養成研修修了) **【委員長】**

入間田範子 (NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ副理事長)

石坂幸子 (NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ事務局チーフ)

佐々木真由美 (情報の公表調査員指導者養成研修修了)

第1回 2024年11月13日(水) 13:30~15:00 フォレスト仙台5階事務所

第2回 2025年05月15日(木) 10:00~12:00 フォレスト仙台5階事務所

(3) 介護サービス「情報の公表」・福祉サービス「第三者評価」苦情解決の第三者委員会

介護サービス情報の公表及び福祉サービス第三者評価事業の苦情解決に社会性や客観性を確保し、適切な対応を推進するため、第三者委員を3人に委嘱しました。

**【第三者委員】** 井野場晴子 (弁護士)

関谷 登 (東北学院大学名誉教授)

大森美和子 (民生委員・児童委員)

① 「情報の公表」「第三者評価」事業の苦情解決の第三者委員研修・情報交流会の開催

2025年05月29日(木) 13:00~15:30 フォレスト仙台5階501会議室

② 「情報の公表」「第三者評価」第三者委員苦情相談窓口開設

苦情相談窓口は介護・福祉ネットみやぎ事務局に設置しています。

苦情相談担当者は第三者委員からの助言や立会いが必要な場合や、報告を必要としている苦情について適切に対応します。相談窓口は通年(土日、祝祭日、年末・年始・お盆の休業期間を除く9:30~17:00まで)開設しました。2024年度は第三者委員への報告が必要な苦情相談はありませんでした。

(4) 宮城県・仙台市及び宮城県指定情報公表センター、情報の公表調査機関の打合せ会議

調査の平準化を図り更に調査の質の向上と介護保険制度や国・県の「情報の公表」に関する

情報を共有していくために、1回開催され出席しました。

(5) 「情報の公表」調査員研修会の開催

調査員としての資質向上と調査機関間の調査の平準化をめざし調査員研修を3回、新人研修を1回、ハイブリッド形式で開催しました。運営情報項目に関する解釈、調査時の心得、介護保険制度改定内容などについて学ぶとともに、毎回、学習会や研修会を持ち、幅広い知識を得ることもつとめました。

	内容	講師名	日時	場所	参加人数
新人	○介護保険制度や『共生社会の推進を実現するための認知症基本法の概要などについて ○当法人設立経過、活動内容、介護保険制度、情報の公表・外部評価・第三者評価の制度の違いなどについて	・横前 誠さん（桜ヶ丘地域包括支援センター所長） ・入間田範子さん（介護・福祉ネットみやぎ副理事長）	11/28（木） 10：30～ 12：15	フォレスト 仙台5階 501会議室	29人
第1回	○「感染症予防および蔓延防止の対策について」	・残間由美子さん（公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院感染管理認定看護師・NPO法人みやぎ感染予防教育推進ネットワークきれいな手理事長）	9/20（金） 14：00～ 16：00	フォレスト 仙台5階 501会議室	34人
第2回	○「令和6年度介護報酬改定における公表制度に関連する改正内容の概要」と「令和6年度修正・追加された調査項目の解釈」について ○令和6年度作業工程、公表システム変更点などについて	・田中哲平さん（宮城県長寿社会政策課運営指導班主事） ・菅野友紀さん（仙台市健康福祉局保険高齢部介護事業支援課居宅サービス指導係主事） ・三浦久美子さん（宮城県指定情報公表センター）	11/28（木） 13：00～ 16：30	フォレスト 仙台5階 501会議室	57人
第3回	○2024年度情報の公表調査事業全体を通して ○「介護ロボット・ICT導入による生産性向上に向けた施設の取	・事務局より ・高田洋樹さん（社会福祉法人陽光福祉	2025/5/29 （木） 13：00～ 15：30	フォレスト 仙台5階 501会議室	50人

	り組みについて」	会特養ホームエコー が丘施設長、 仙台市老人福祉施設 協議会 会長)			
--	----------	---	--	--	--

## 6. 地域密着型サービス外部評価事業

2010年、宮城県より外部評価機関に選定され、評価事業を実施しています。2024年度は、評価調査員として48人に委託し、県内50事業所の評価調査を訪問やオンラインにて行いました。

当法人は、要介護者と介護者の人権擁護（尊重）、地域住民の福祉向上に資するよう公正中立な立場できめ細やかな評価を目指して外部評価を実施しました。

### (1) 「外部評価」審査委員会

委員会は、外部評価事業について報告し、その内容について意見をいただき、評価事業の運営の適正化を図ることを目的としています。更に、評価報告書に関して、専門的な観点から審査を行う必要があると判断される場合等に意見をいただいています。

#### 【審査委員】

内館 昭子 (NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ副理事長) 【委員長】

内海 裕 (NPO法人宮城県認知症グループホーム協議会会長)

小湊 純一 (一般社団法人宮城県社会福祉士会副会長)

若生 栄子 (公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部代表)

2024年 7月29日 (月) 13:30~15:00 フォレスト仙台5階事務所

### (2) 「外部評価」評価委員会

評価調査員が作成した評価報告書を承認し、評価機関として評価を決定していただきました。事業所の「優れている点」の明確化、外部評価における「利用者家族等アンケート」の活用と情報提供、事業所の提出資料の負担軽減等について検討し、外部評価事業の更なるレベルアップを目指しました。

#### 【評価委員】

入間田 範子 (NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ副理事長) 【委員長】

田村 孝夫 (地域密着型サービス外部評価調査員) 【副委員長】

齋藤 境子 (前NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ理事長)

佐々木真由美 (NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ事務局次長)

平間 止 (地域密着型サービス外部評価調査員)

第1回 2024年06月27日 (木) 13:30~15:30 フォレスト仙台5階事務所

第2回 2024年08月20日 (火) 10:00~12:30 フォレスト仙台5階事務所

第3回 2024年11月13日 (水) 10:00~13:00 フォレスト仙台5階事務所

第4回 2024年12月11日 (水) 10:00~12:30 フォレスト仙台5階事務所

第5回 2024年12月18日 (水) 10:00~13:00 フォレスト仙台5階事務所

第6回 2024年12月25日 (水) 10:00~13:00 フォレスト仙台5階事務所

第 7回	2025年01月15日 (水)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所
第 8回	2025年02月05日 (水)	10:00~13:00	フォレスト仙台5階事務所
第 9回	2025年02月12日 (水)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所
第10回	2025年02月19日 (水)	10:00~13:00	フォレスト仙台5階事務所
第11回	2025年02月26日 (水)	10:00~13:00	フォレスト仙台5階事務所
第12回	2025年03月05日 (水)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所
第13回	2025年03月12日 (水)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所
第14回	2025年03月19日 (水)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所
第15回	2025年03月26日 (水)	10:00~13:00	フォレスト仙台5階事務所
第16回	2025年04月02日 (水)	10:00~13:00	フォレスト仙台5階事務所
第17回	2025年04月09日 (水)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所
第18回	2025年04月16日 (水)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所
第19回	2025年04月23日 (水)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所
第20回	2025年04月30日 (水)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所

(3) 「外部評価」調査員フォローアップ研修会の開催

評価調査員の資質向上と地域密着型サービスの知識を深めるために宮城県フォローアップ研修、調査員研修を3回、新人研修を1回、ハイブリッド形式で開催しました。

	内容	講師名	日時	場所	参加人数
宮城県 フォローアップ研修	○「グループホームの概要と外部調査員に期待すること」について	・内海 裕さん(NPO法人宮城県認知症グループホーム協議会会長)	8/8 (木) 10:00~ 16:30	宮城県庁1階 101会議室	26人
第1回	○2024 年度外部評価事業について ○外部評価を行うにあたっての留意点について	・入間田範子さん(介護・福祉ネットみやぎ副理事長) ・田村孝夫さん(副外部評価委員長)	8/29 (木) 10:30~ 12:30	フォレスト仙台4階 4A 会議室	36人
新人	○「情報の公表」調査員研修と同じ		11/28 (木) 10:30~ 12:15	フォレスト仙台5階 501 会議室	29人
第2回	○「情報の公表」調査員研修と同じ		9/20 (金) 14:00~ 16:00	フォレスト仙台5階 501 会議室	34人

第3回	○「情報の公表」調査員研修と同じ ○評価委員会より 2024 年度の振返り	・田村孝夫さん(外部評価副委員長)	2025/5/29 (木) 13:00～ 15:30	フォレスト仙台5階 501会議室	50人
-----	--	-------------------	-------------------------------------	---------------------	-----

(4) 『利用者・家族等アンケートまとめ』の作成

2024年度は、グループホーム50事業所の外部評価を行いました。外部評価は、「書面調査（現況調査・自己評価調査・利用者家族等アンケート調査）」と「訪問調査」の結果を取りまとめ、総合的な評価を実施しています。

利用者・家族等アンケート調査（以下 アンケート）は、818人に配布し519人から回答いただき、回収率は63.4%でした。アンケートを集計し、「1.2.3.4.」の選択項目は、自己評価のアウトカムと比較できる『表』としてまとめ、評価に活かすよう努めています。また、『表』は訪問調査の際に事業所に渡しケアの質の向上に役立てていただいています。家族の自由記述は守秘義務から事業所に直接伝えていませんが、家族の深い思いが込められた言葉で埋め尽くされています。

外部評価利用者・家族等アンケート集計結果（自由記述は除く）については、ホームページに掲載し情報提供を行っています。

7. 福祉サービス第三者評価事業

2013年宮城県より「福祉サービス第三者評価機関」に認証、2016年社会福祉法人全国社会福祉協議会より「社会的養護関係施設第三者評価機関」に認証され、評価事業を実施しています。2024年度は、評価調査者として28人に委託し、県内障がい者分野2施設、高齢者分野1施設、保育所分野2施設、社会的養護関係施設1施設、合計6施設の評価を行いました。

(1) 「福祉サービス第三者評価」審査委員会

委員会において、評価調査者が作成した評価報告書を承認していただきました。

【審査委員】

石井 敏（東北工業大学副学長、建築学部長、教授、工学博士）【委員長】

坂口 繁治（社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価調査者）

齋藤 境子（前介護・福祉ネットみやぎ理事長、福祉サービス第三者評価調査者）

2025年01月29日（水）09:30～16:30 フォレスト仙台5階501会議室

2025年04月03日（木）10:00～11:30 フォレスト仙台5階501会議室

(2) 令和6年度宮城県福祉サービス第三者評価調査者養成研修会参加（宮城県主催）

本研修は、社会福祉事業の事業者が提供する福祉サービスについて、公正中立な第三者機関が客観的・専門的な立場から評価する「福祉サービス第三者評価」を適切に実施するため、評価調査者の養成とその資質の向上を図ることを目的に実施するものです。2024年度は、評価調査者として1名養成しました。

2024年10月15日（火）、16日（水）10：00～16：15 オンライン研修  
 2024年10月17日（木）10：00～16：00 施設実習（宮城県船形の郷）  
 2024年10月18日（金）10：00～15：15 みやぎハートフルセンター3階 中会議室

（3）令和6年度宮城県福祉サービス第三者評価調査者継続研修会参加（宮城県主催）

本研修は、福祉サービス第三者評価を継続的に実施するために必要となる専門的知識と技術及び資質の向上を図ることを目的に実施するものです。2024年度は、評価調査者4人が参加しました。

2025年01月23日（木）10：00～16：30 みやぎハートフルセンター2階 大会議室

（4）令和6年度社会的養護関係施設第三者評価事業「評価調査者」継続研修会参加（全社協主催）

社会的養護関係施設の第三者評価における評価調査者を対象として、令和7年度に改定する評価基準に関する理解と評価手法の更なる向上のために必要な知識と技術の習得を目的に実施するものです。2024年度は、評価調査者2人が参加しました。

2025年03月27日（木）13：00～18：10 全社協LB階 灘尾ホール

03月28日（金）09：30～15：00 全社協LB階 灘尾ホール

（5）令和6年度社会的養護関係施設第三者評価事業「評価機関」更新研修会参加（全社協主催）

社会的養護関係施設の第三者評価機関の代表者等を対象として、第三者評価プロセスの質の向上のために、評価チームの編成や所属評価調査者の育成をはじめとする評価機関のマネジメントに必要な知識および方法を習得することを目的に実施するものです。

社会的養護関係施設の第三者評価機関としての認証更新に必要な評価件数の要件を満たさない評価機関が、認証更新を行うために必須の研修会です。評価調査者1人が参加しました。

2025年03月28日（金）15：15～17：45 全社協LB階 灘尾ホール

（6）「福祉サービス第三者評価」評価調査者内部研修会の開催

評価調査者の資質向上と幅広い知識を深めることを目的に調査者研修を2回開催しました。

	内容	講師名	日時	場所	参加人数
第1回	○身体拘束排除のための取り組みについて	・小湊純一さん（宮城県社会福祉士会副会長・NPO法人宮城福祉オンブズネット「エール」副理事長）	7/19（金） 14：15～ 16：15	フォレスト 仙台4階 4A会議室	16人
第2回	○福祉サービス第三者評価事業の現状と課題	・新津ふみ子さん（全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会会長）	11/26（火） 13：30～ 16：30	フォレスト 仙台5階 501会議室にてオンライン	8人

	<p>○保育所・認定こども園が抱える課題（経営者の視点から）</p> <p>○今、求められている保育士の役割</p>	<p>・稲垣 昇さん（社会福祉法人神召会理事長、認定こども園シオン園長、一般社団法人熊本県社会福祉士会 評価調査者）</p> <p>・猪俣清子さん（社会福祉法人愛稚会 翠松保育園副園長、公益社団法人新潟県社会福祉士会あいエイド新潟 評価調査者）</p>		<p>ン視聴</p>	
--	--	--	--	------------	--

## 8. 介護・福祉事業者のネットワークとして社会的に発言する活動

### （1）介護保険制度の改善に向けた活動

2025年度国の予算編成に向けて、訪問介護の基本報酬引き下げを撤回し、介護報酬全体の大幅な底上げを図る再改定求め、以下の内容で国へ要望書を提出しました。

「2024年介護報酬の再改定と介護保険制度の抜本見直しを求める要望書」を内閣総理大臣、衆参両議長、厚生労働大臣、財務大臣などへ提出【2025年2月27日（木）】

### （2）よりよい介護保険制度としていくために他団体との連携

私たちがめざす介護保険制度とするため、また、宮城の介護現場が抱える問題を改善するために、県内で活動する他団体と連携して活動しました。2024年12月22日（日）13:30～16:30フォレスト仙台2階第7・10会議室にて『みんなで考えよう介護保険！みやぎ県民フォーラム2024』を開催しました。みやぎ県民フォーラム実行委員会では、フォーラムの趣旨にそって、政府が検討している介護保険制度の改定に対し、「すべての人が大切にされる介護保険」を目指し、以下の内容で他団体とともに要請活動を行いました。

- ① 「2024年介護報酬の再改定と介護保険制度の抜本見直しを求める要望書」を内閣総理大臣、衆参両議長、厚生労働大臣、財務大臣等へ提出【2025年2月20日（木）】
- ② 「2024年介護報酬の再改定を求め、よりよい介護保険制度の実現と介護サービス体制を維持するための要望書」を宮城県知事及び仙台市長へ提出【2025年3月21日（金）】
- ③ 「2024年介護報酬の再改定を求め、よりよい介護保険制度の実現と介護サービス体制を維持するための要望書」を宮城県内34市町村首長へ送付【2025年3月27日（木）】
- ④ 2025年5月9日（金）宮城県、2025年5月16日（金）仙台市の担当部局との懇談を開催しました。

## 9. 情報の発信

- (1) 「情報紙」は年6回(奇数月)110号～115号を発行しました。発行部数は600部で会員団体、理事・監事、各委員会の委員、正会員、賛助会員、調査員、宮城県・仙台市の介護保険課、友誼団体等に送付しました。
- (2) 介護・福祉ネットみやぎ発行の情報紙や速報、研修動画(講師了解のもと)をホームページにアップし、活動内容や行政の情報などを随時お知らせしました。また、リンク集を設け介護関連の情報を得やすくしました。
- (3) 介護・福祉ネットみやぎ速報をメール及びFAXで、介護・福祉ネットみやぎ会員、理事会メンバー及び関係団体に向け発信しました。

## 10. 理事会・監事会・事務局体制

- (1) 理事会を5回開催しました。

2024年度総会第1回	2024年06月13日(木)	16:15～16:55	フォレスト仙台2階第2ホール
2024年度総会第2回	2024年10月10日(木)	14:00～16:00	フォレスト仙台5階501会議室
2024年度総会第3回	2024年12月10日(火)	14:00～16:00	フォレスト仙台5階501会議室
2024年度総会第4回	2025年03月25日(火)	14:00～16:00	フォレスト仙台5階501会議室
2024年度総会第5回	2025年05月22日(木)	14:00～16:00	フォレスト仙台5階501会議室

- (2) 監事会を開催しました。

2025年05月22日(木) 16:00～18:00 フォレスト仙台5階事務所

- (3) 事務局体制について

- 1) 事務局長・事務局次長・事務局員の4人で運営しました。
- 2) 全体会議を理事長、副理事長の参加のもと月2回開催し、情報の共有を図りました。
- 3) 事務局スタッフの質の向上のための内部研修に参加しました。
- 4) 事務局スタッフの質の向上のための外部研修に参加しました。

- ① 「ひとりひとりが主役! グループホームが大好き!」「認知症行動心理」

宮城県認知症グループホーム協議会主催

講師: 土屋 菜歩(やまと在宅診療所栗原院長)

2024年11月8日(金)

- ② 「認知症と認知症ケアのキホン」

宮城県認知症グループホーム協議会主催

講師: 猪俣 聡(仙台市認知症介護指導者)

2025年4月24日(木)

第1号議案の本旨に反しない範囲の字句修正を理事会に一任願います